

# ふくらく通信

発行者 菅野香織

ご意見・ご感想は こちらへ  
〒980-8529 仙台市青葉区一番町1-16-5  
河北仙版内「ふくらく通信」まで

または、ネット版へ

河北新報社運営のウェブサイト「ふらっと」にて、ブログの「ふくらく通信・ネット版」を開設しています。「ふらっと」は会員登録無料、会員はコメントの書き込み、メールができます。参加してみてくださいね。

## 鳥のこみけ隊報告書

### 広瀬川は今

おんなの財産

4月に入った頃から、広瀬川では中州や寄り川の草木がなくなっている。その土地も消えようとしています。

生き物達は、どこに避難しているのかなと、ちよと胸が痛みます。か実は今、広瀬川で水流と自然の均衡を考えた、河川の整備工事が行われています。



行政は、工事について「生物の多様性に配慮する」と言っていました。ですが、ちよと残念なことに、その詳細や具体的な方法と構想は、目に付きにくい形で発信されています。広く十分に知らされて、広瀬川は言えませぬ。そのため、工事への不満の声も、ちよとよく聞こえていました。そこで、鳥のこみけ

隊は、きちんと川の管理計画の情報も調べ、工事の様子を確認することにしました。そして、工事の傍らで、こんな鳥がどのようになっているのかを観察しています。



工事の傍ら、残っている寄り川の草地でも、様々な鳥達の姿を見ることができました。

さて、この工事で、広瀬橋から望む橋にかけて、今後の広瀬川はどんな姿になるのでしょうか。



行政の調査と計画を見ると、生物への影響も考え、長期的な変遷を予測していました。第7回広瀬川環境管理協議会（平成17年度）「広瀬川管理工事の説明資料」を参考。

### 再生も目指す



大羊の樹木は、伐採し、中州を撤去し、寄り川も削ります。ですから、残した寄り川の水際には、礫を敷き、草地も再生していくように配慮される計画です。

ちよと時間がかかるかも知れませんが、再生を目指して、工事は進められています。

広瀬川は、昭和25年に起きた洪水の被害以降、上流にダムを作り、水量の調整がなされてきました。あとは、適正なダムの管理と、川には自然と共生する手入れが大切ではないかと思えます。

### 暖かい季節、こんな鳥もみかけます



### 鳥は環境の目安 共生は人にとっても有益

広瀬川は、その豊かな環境から、水鳥だけでなく、渡りの小鳥も訪れる素晴らしい場所です。安全と自然との共生は、どちらも大切です。自然と融合する技術が、川人も守る鍵かもしれません。

今後、工事と再生までの過程を、ちゃんと見ていきたいと思っています。

治水は自然との均衡が大切

広瀬川で鳥を観察し、大切に思ふことは、河川のお方を考えるきっかけになると考えています。

渡りの途中で立ち寄ることがある ～キアシシギ～



橙色が魅力の ～アカハラ～



おんない～イカルドリ～ 石の上にいるよ、じっと日なたぼっこしているのを見かけます

